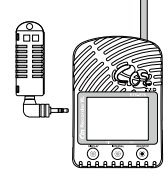
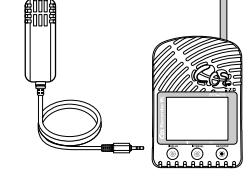


Wireless CO₂ Recorder RTR-576 取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

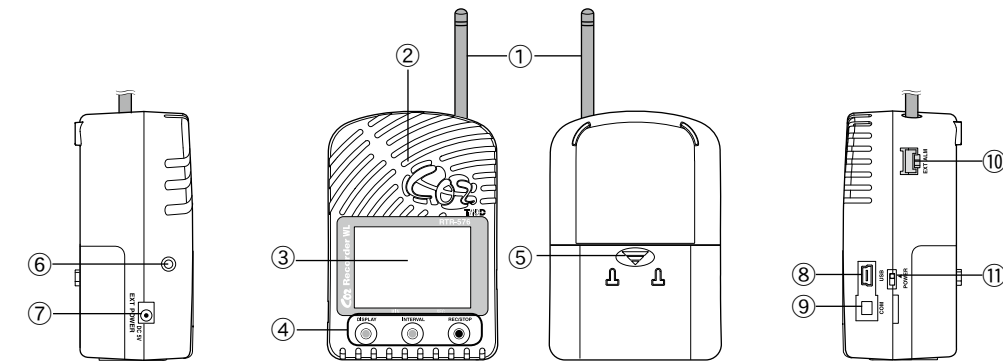
本書をお読みいただき正しくご使用ください。

RTR-576 パッケージ内容	RTR-576-H パッケージ内容
 <ul style="list-style-type: none"> ワイヤレス CO₂ レコーダ (RTR-576) 温湿度センサ (THA-3001) AC アダプタ (AD-0638) USB 通信ケーブル (US-15C) 単 3 アルカリ乾電池 x4 取扱説明書 (保証書付) 	 <ul style="list-style-type: none"> ワイヤレス CO₂ レコーダ (RTR-576) 高精度温湿度センサ (HHA-3151) AC アダプタ (AD-0638) USB 通信ケーブル (US-15C) 単 3 アルカリ乾電池 x4 取扱説明書 (保証書付)

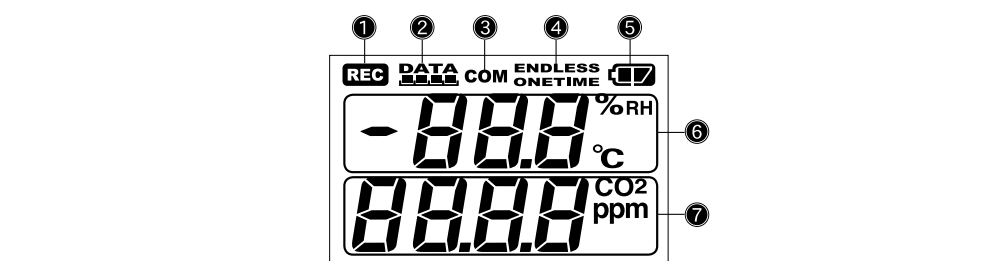
株式会社 **ティアンドデイ**
http://www.tandd.co.jp/

© Copyright T&D Corporation. All rights reserved.
2016.12 16504800009 (第 4 版)
再生紙を使用しています。

各部の名称と液晶画面



- | | | |
|-------------------------------|--|----------------------|
| ① アンテナ | ④ 操作ボタン
(DISPLAY)
(INTERVAL)ボタン
(REC/STOP)ボタン | ⑦ AC アダプタコネクタ |
| ② CO ₂ センサエリア (内蔵) | ⑤ 電池フタ | ⑧ USB コネクタ |
| ③ 液晶画面 | ⑥ 温湿度センサコネクタ | ⑨ シリアルコネクタ (RS-232C) |
| | | ⑩ 外部警報端子 (EXT ALM) |
| | | ⑪ (POWER)スイッチ |



① [REC] マーク	記録状態を表示します。 点灯:記録中 点滅:予約スタート待機中 非表示:記録停止中
② 記録データ量	記録データが 2000 個ごとに 1 目盛り増えます。記録データの最大容量は 8000 個です。
③ 通信状態	通常は非表示です。 点灯:USB ケーブルでパソコンに接続中 高速点滅:USB / 無線で通信中
④ 記録モード	記録モードは付属ソフトウェアで設定します。 エンドレス: 記録データ数が 8000 個を超えると、一番古いデータから上書きして記録を続けます。 ワнтаイム: 記録データ数が 8000 個に到達すると "FULL" と現在値が交互表示します。
⑤ 電池マーク	電池の使用状態と電圧の状態を表示します。(詳細は右記にて)
⑥ 温度と湿度の現在値 / メッセージ	温度 (°C) と湿度 (%RH) の現在値を表示します。(DISPLAY) ボタンで表示の切り替えができます。メッセージを表示する場合があります。
⑦ CO ₂ 濃度の現在値 / メッセージ	CO ₂ 濃度 (ppm) の現在値を表示します。メッセージを表示する場合があります。

知っておきたいメッセージと表示

設定によるメッセージ

ボタン操作のロック
ソフトウェアで "ボタン操作のロック" を設定しているため、本体ボタンによる操作ができません。

メモリーオーバー
記録モードを "ワнтаイム" に設定すると、記録データが 8000 個に到達した時点で、現在値と [FULL] を交互に表示します。記録を停止し、記録データを吸い上げてから記録を再開してください。* エンドレス" に設定すると、この状態にはなりません。

ご使用にあたって

! 本製品の計測環境は人が暮らせる環境を対象にしています。人為的に二酸化炭素を制御した空間 (CO₂ インキュベータ等) には適していません。また、屋外で測定するときは日光、ほこり、雨、風に当たらないようにし、仕様に明記している動作環境を守って使用してください。

! 本製品は一酸化炭素、酸素の測定はできません。酸欠、一酸化炭素中毒を避ける目的、また、健康障害を避ける目的での使用はしないでください。

! RTR-576 を設置してから約 1 ~ 2 週間は CO₂ 濃度の数値が急激に変化する事があります。これは RTR-576 のオートキャリブレーション機能が働いているために起こる症状であり異常ではありません。

! 直射日光が当たる場所、急激な温度変化のある場所での使用 / 保管はしないでください。

! 水に濡らさないでください。結露する場所での使用 / 保管はしないでください。

! 本製品の劣化を早める原因になりますので、タバコの煙、空気中の粉じん、腐食性ガスや爆発性・有機性ガスが発生する環境での使用 / 保管はしないでください。

! 本製品に強い衝撃を与えないでください。測定値の精度に影響が出ます。また、ケースが割れてけがをする恐れがあります。

! CO₂ 濃度 5,000ppm 以上の測定値はセンサ精度保証の対象外です。

! RTR-576 は子機です。親機がないと無線通信による機能はご利用いただけません。
(親機対象機種: RTR-500C, RTR-500NW / 500AW, RTR-500DC)

! 親機の設定が済んでから RTR-576 の設定をしてください。

電池マークのみかた

電池の使用状態をみる

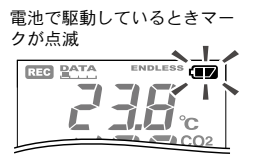
電池マークの点滅 / 点灯で電池の使用状態を表します。電池が入っていない場合、マークは表示されません。

点滅 (電池で駆動中):

電池だけで使用しているときは電池マークが点滅します。

点灯 (外部電源で駆動中):

AC アダプタを使用しているときは電池マークが点灯します。



電池残量をみる

電池マークは電池電圧の状態を 3 段階で表します。

- 電池状態は良好**
電池だけで使用している場合、①から②になるまでの目安はおおよそ 24 時間です。②から③になるまでの目安はおおよそ 24 時間です。
- 電池の交換時期**
なるべく早く電池を交換してください。
- 電池電圧の低下**
電池だけで使用している時に電池電圧が低下すると、CO₂ 濃度の測定・記録はできません。また、無線通信は通信エラーになる可能性があります。

④スリープモード (測定・記録の停止)
電池交換をせず使用を続けると、記録データを保護するために測定・記録を停止します。
• 新品の電池に交換すると現在値表示画面に戻ります。
• 記録データをパソコンに吸い上げてから、記録開始をしてください。

⑤記録データ消失
電池を交換せずに放置しておくとき液晶画面が消え、記録データが消失します。記録の設定は残ります。

⑥記録データ消失
電池を交換せずに放置しておくとき液晶画面が消え、記録データが消失します。記録の設定は残ります。

記録中に電池を抜く場合

- 電池のみで記録しているとき、電池を抜くとカウントを開始します (60 秒間)。
- 記録を継続するには、カウントが終了するまでに電池を交換するか、AC アダプタで電源を供給してください。
- 60 秒以内に電源を供給しないとスリープモードになります。

[----] が表示される

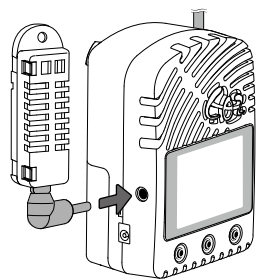
温湿度の表示部
温湿度センサが外れている、接触不良、断線している、または電源を入れたばかりのときに表示します。センサを接続しなおしても現在値表示に戻らない場合は、センサか本体の故障が考えられます。

CO₂ 濃度の表示部
電源を入れたばかりのときに表示します。しばらく経っても現在値表示に戻らない場合はセンサの故障が考えられます。また、電池電圧が不足していると CO₂ センサは動作しません。

使い始める前に

! 親機付属のソフトウェアをインストールする前に RTR-576 をパソコンに接続しないでください。

STEP 1 センサを接続する



STEP 2 電源を入れる

AC アダプタ

長時間測定・記録するときは付属の AC アダプタをご利用ください。

単 3 アルカリ乾電池 4 本

電池のみで測定・記録が可能な期間は約 2 日間です。AC アダプタを使用中に停電した場合、バックアップ電源になります。

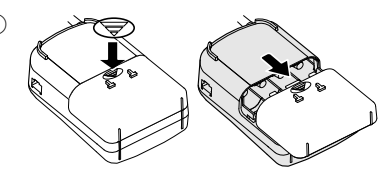
- アルカリ電池を長期間機器に入れたままにすると腐食または液漏れを起こすことがあります。バックアップ用電源として使用する場合は 2、3 年に 1 度の交換をおすすめします。

電池のセット

! 電池電圧がなくなった場合本体内部の記録データが消失します。電池を外したまま放置しないでください。

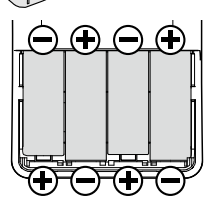
1. 背面の電池フタを外します。

- ① 三角マークの部分を押しながら、フタを下方へスライドしてください。
- ② 持ち上げるようにしてフタを外してください。



2. 付属の電池をセットしてください。

- 同じ種類で、新しい電池を使用してください。
- + / - を間違えないようにセットしてください。
- ぬれた手でセットしないでください。
- 電池フタは確実に閉じてください。



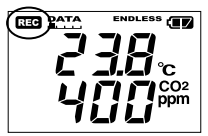
ボタン操作でできること

! ソフトウェアで "ボタン操作のロック" を設定している場合、ボタン操作はできません。

〈REC/STOP〉ボタン: 記録を開始 / 停止する

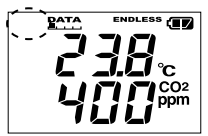
記録を開始する

- [REC] マークが表示するまで、〈REC/STOP〉ボタンを約 2 秒間長押ししてください。
- 予約スタートの待機中でも記録開始します。
- 記録を開始すると、RTR-576 内の記録データはすべて消失します。



記録を停止する

[REC] マークが消えるまで、〈REC/STOP〉ボタンを約 2 秒間長押ししてください。



〈DISPLAY〉ボタン: 現在値の表示を切り替える

温度と湿度 (上段) の現在値表示を切り替えることができます。CO₂ 濃度 (下段) は常に表示します。

1. 〈DISPLAY〉ボタンを 1 回押すごとに表示が切り替わります。

温度と湿度を交互表示: 1 秒ごと交互に表示します。

温度表示

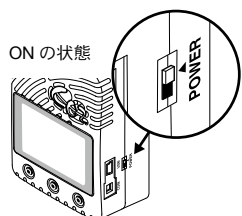
湿度表示

2. 表示させたい形式のところでボタンを押すのをやめます。

〈POWER〉スイッチを入れる

電源をセットしたら 〈POWER〉スイッチを ON の状態にしてください。

- 〈POWER〉スイッチを切る際の注意事項は [ボタン操作でできること] に記載しています。



CO₂ センサのウォームアップ時間

〈POWER〉スイッチを入れてから、CO₂ 濃度の現在値が正常に表示されるまで約 1 分かかります。

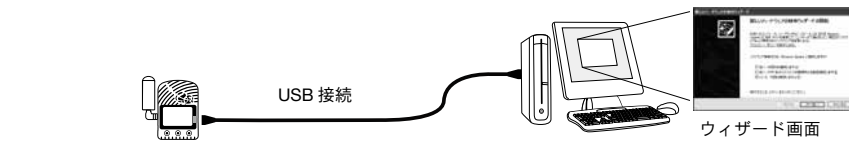
STEP 3 親機付属のソフトウェアで子機登録する

親機付属のソフトウェアで子機登録します。RTR-576 を USB 通信ケーブルでパソコンに接続して、使用しているソフトウェアの設定ユーティリティ * の [子機設定] メニュー - [登録] ボタンから子機登録をしてください。

* [RTR-500W 設定ユーティリティ], [RTR-500C 設定ユーティリティ], [RTR-500DC 設定ユーティリティ]

ウィザード画面が表示されたら

RTR-576 を USB 通信ケーブルでパソコンに接続したとき、"新しいハードウェアの検索ウィザード" が起動した場合は、画面の指示に従って USB デバイスドライバのインストールを行う必要があります。



- 親機に付属しているソフトウェアのインストールが済んでいない場合はウィザード画面を閉じ、USB 通信ケーブルをパソコンから抜いてください。
- 操作がわからない場合は、ソフトウェアのスタートメニューから [ヘルプとサポート] - [機器を認識しないときは] を開いてください。操作の手順を詳しく説明しています。

気圧補正について

CO₂ 濃度の測定結果には気圧が影響します。高い精度が必要な測定には、記録を開始する前に気圧補正をすることをおすすめします。

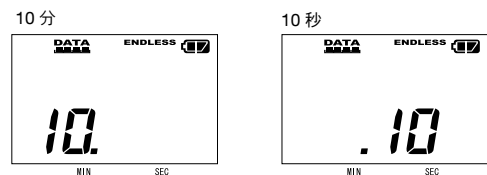
測定場所の気圧を入力する:
[気圧] のテキストフィールドに気圧 (hpa) を直接入力してください。
標高から気圧を算出する:
測定場所の標高 (m) を入力して、気圧を求めることもできます。



〈INTERVAL〉ボタン: 記録間隔を確認する

記録中、予約スタートの待機中に確認できます。

1. 〈INTERVAL〉ボタンを約 2 秒間長押しすると、現在の記録間隔を表示します。
2. ボタン操作をしなければ現在値の表示に戻ります。



〈INTERVAL〉ボタン: 記録間隔の設定を変更する

記録中は設定の変更はできません。

1. 記録を停止します。
2. 〈INTERVAL〉ボタンを約 2 秒間長押しすると、現在の記録間隔が表示します。
3. 〈INTERVAL〉ボタンを 1 回押すごとに選択値が変わるので、設定したいところでボタンを押すのをやめます。
4. 記録を再開してください。

〈POWER〉スイッチを切る

! ソフトウェアで "ボタン操作のロック" を設定している場合、および記録中は 〈POWER〉スイッチで電源を切ることはできません。

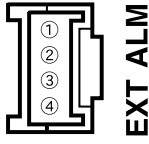
1. 記録を停止します。
2. 〈POWER〉スイッチを OFF の状態にします。

- 電源が AC アダプタで供給されている場合は、〈POWER〉スイッチを切っても CO₂ センサは動作しています。そのため、内部で電球が時々点灯します。
- 電源が電池のみの場合は、〈POWER〉スイッチを切ると CO₂ センサは動作しません。

外部警報端子を使うための準備

ブザーやランプといった外部装置を RTR-576 に取り付けることができます。外部警報端子の仕様を参考のうえ、外部装置等は別途準備してください。

外部警報端子について (EXT ALM)

	警報イネーブル	① 警報出力の有効 / 無効	3V 100 kΩのプルアップ 許容入力電圧：30V
		② GND	
	警報出力 (OUT)	③ 出力端子（警報出力）	オープンドレイン出力 OFF 時の電圧 DC30V 以下 ON 電流 0.1A 以下 ON 抵抗 15 Ω
		④ GND	

警報出力は① - ②間で警報出力の有効 / 無効に設定します。警報出力が有効時、警報状態になると③ - ④間がつながって警報を出力します。

適合コネクタについて

外部警報端子に適合するコネクタは PAP-04V-S (J.S.T 社製) です。コネクタの購入方法は J.S.T. 社に直接お問い合わせください。http://www.jst-mfg.com/

CO2 センサの自動校正機能（オートキャリブレーション）

オートキャリブレーションとは

大気中の CO2 濃度を 400 ppm とみなして自動校正する機能です。180 時間の間に RTR-576 が測定した CO2 濃度のもっとも低い値を 400 ppm として段階的に補正します。

- 工場出荷時はオートキャリブレーションが " 有効 " になっています。

オートキャリブレーションの有効 / 無効を切り替える

RTR-576 の測定値が 400 ppm と大きく違う環境で継続的に測定する場合は、オートキャリブレーションを " 無効 " に切り替えて(*1)測定してください。その際、より精度の高い測定結果を得るためには、屋外に RTR-576 を設置し、測定値が 400 ppm に近いかどうか定期的に確認してください。大きく違う場合は手動による校正 (*2) を行うことをおすすめします。

*1: 設定を切り替えるには " アジャストメントツール " をダウンロード（無料）する必要があります。詳細は下記参照先で説明しています。

*2: CO2 センサの測定結果は徐々にドリフトしますので、手動による校正は 1 ヶ月に 1 回を目安にしてください。操作手順や詳細は下記参照先で説明しています。

参照先：

RTR-500C / 500AW / 500NW をご利用の場合

[ヘルプとサポート] - [📄 操作ガイド]

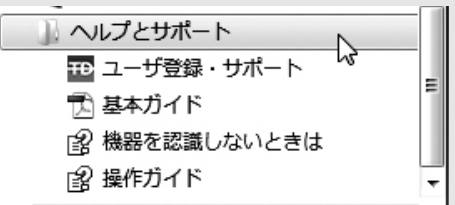
RTR-500DC をご利用の場合

[RTR-500DC 設定ユーティリティ ヘルプ] - [メニュー画面] - [子機設定]メニュー

?

困ったとき・詳細情報は - ヘルプとサポート

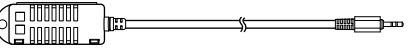
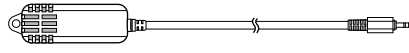
親機付属のソフトウェアのメニューにある [ヘルプとサポート] には、画面やイラストを使った分かりやすい解決策や、よくある質問など、本書に記載されていない詳しい操作方法を記載しています。

	
ユーザ登録・サポート：	弊社 Web サイトのサービス/サポートの案内ページが開きます。
基本ガイド (pdf)：	親機の基本ガイドを PDF ファイルで記載しています。
機器を認識しないときは：	本書 【使い始める前】 - [STEP2] の USB デバイスドライバをインストールする手順や確認方法を詳しく記載しています。
操作ガイド：	基本設定から便利機能の応用設定までより詳しく記載しています。

- PDF ファイルをご覧いただくには Adobe Reader が必要です。Adobe Reader がインストールされていない場合は、アドビ システムズ社のサイトからダウンロードした後インストールしてください。

?

?

温湿度センサ：	高精度温湿度センサ：
THA-3151	HHA-3151
	
測定範囲：温度 0 ～ 55℃、湿度 10 ～ 95 %RH 測定分解能：温度 0.1℃、湿度 1 %RH 精度：温度 ± 0.5℃、湿度 ± 5 %RH (25℃ 50 %RH において) 90 % 応答：約 7 分 ケーブル長：約 1.5 m	測定範囲：温度 -30 ～ 80℃、湿度 0 ～ 99%RH 経年変化：1 %RH/年、± 0.1℃/年 ケーブル長：約 1.5 m

?

?

?

製品仕様

機種	RTR-576	RTR-576-H
	CO2 センサ（内蔵）	
センサ	NDIR 方式	
測定チャンネル	CO2 濃度 1ch	
測定範囲	0 ～ 9,999 ppm	
精度	± (50 ppm + 読み値の 5 %) [5,000 ppm 以下において] (*1)	
測定分解能	最小 1 ppm	
応答性	90% 応答：約 1 分	

温湿度センサ（外付け）				
センサ	THA-3001		HHA-3151(高精度タイプ)	
	サーミスタ	高分子膜抵抗式	白金測温抵抗体	静電容量式
測定チャンネル	温度 1ch	湿度 1ch	温度 1ch	湿度 1ch
測定範囲	0 ～ 55℃	10 ～ 95 %RH	-30 ～ 80℃	0 ～ 99 %RH
精度	± 0.5℃	± 5 %RH [25℃、50 %RH において]	± 0.3℃ [0 ～ 50℃] ± 0.5℃ [その他]	± 2.5 %RH [25℃ 10 ～ 85 %RH] ± 4.0 %RH [25℃ 0 ～ 10 %RH、85 ～ 99 %RH] 25℃ 以外は上記精度に ± 0.1 %RH/℃ を加算 [0 ～ 80℃] 湿度ヒステリシス：± 1.5 %RH 以下 (*2)
測定分解能	0.1℃	1 %RH	0.1℃	0.1 %RH
応答性	90% 応答：約 7 分		90% 応答：約 7 分	90% 応答：約 20 秒


共通仕様	
データ記録容量	8,000 個 × 3ch
記録間隔	1, 2, 5, 10, 15, 20, 30 秒 1, 2, 5, 10, 15, 20, 30, 60 分 (15 分より選択)
記録モード (*3)	エンドレス (記録容量がいっぱいになると、先頭のデータに上書きして記録) <p>ワンタイム (記録容量がいっぱいになると、記録を停止)</p>
液晶表示	測定値、電池残量、その他 <p>- 測定値：CO2 濃度、湿度または湿度（交互表示 / 固定表示）</p>
通信インターフェース	- 無線通信 (特定小電力無線) <p>ARiB STD-T67 (周波数：429 MHz 帯、RF パワー：10 mW)</p> <p>- USB 通信</p> <p>- シリアル通信 (RS-232C) (*4)</p>
無線通信距離	約 150 m (見通しの良い直線において)
外部警報端子	出力端子：オープンドレイン出力 (OFF 時の電圧 DC 30V 以下 / ON 電流 0.1A 以下 / ON 抵抗 15 Ω)
電源	AC アダプタ (AD-0638)、単 3 アルカリ電池 (LR6) × 4
電池寿命 (*5)	約 2 日間 (AC 電源なしの場合)
本体寸法	H 96 mm × W 66 mm × D 46 mm (突起部、温湿度センサ含まず) <p>アンテナ長：60 mm</p>
質量	125 g
本体動作環境	温度：0 ～ 45℃、湿度：90 %RH 以下 (結露しないこと)
対応親機	RTR-500C、RTR-500NW/500AW、RTR-500DC、RTR-500MBS-A

*1: オートキャリブレーションが正常に動作している場合です。気圧によって誤差が生じるので、気圧が 10 hPa 下がると CO2 濃度の測定値も 1.6 % 下がります。使用するソフトウェアから気圧補正することをおすすめします。
*2: 高温高湿の環境 (60℃ 75 %RH、60℃ 50 %RH、70℃ 35 %RH、80℃ 25 %RH 以上) で使用すると、センサのヒステリシスが大きくなり ± 1.5 %RH 以上ずれることがあります。初期の状態に戻るまでに数日かかる場合があります。
*3: 使用するソフトウェアが RTR-500W for Windows の場合はエンドレスのみです。
*4: データレクタ RTR-500DC との通信用です。オプションのシリアルケーブル (TR-6C10) が必要です。
*5: 電池寿命は 周辺温度、記録間隔、通信回数、電池性能などにより異なります。本説明は新しい電池を使用したときの標準的な動作であり、電池寿命を保証するものではありません。上記仕様は予告なく変更することがあります。

RTR-576 の初期設定



記録条件	記録モード：エンドレス <p>記録間隔：10 分</p>
液晶表示設定	交互表示

温湿度センサに関する注意

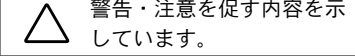
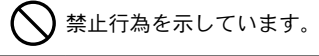
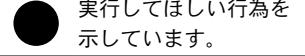
	<ul style="list-style-type: none">急激な温度変化があった場合に、湿度の測定誤差が大きくなることがあります。センサの温度が安定すると正常値に戻ります。 指定のデータロガー以外には接続しないでください。 センサに強い衝撃を与えないでください。精度に影響が出たり、故障の原因になったりすることがあります。 センサを長期間使用しないときは常温常湿で保管してください。 人体には使用しないでください。 通常の使用条件下であってもセンサの感度や精度は劣化してきます。THA-3001 / 3151 は約 1 年間の使用を目安に交換することをおすすめします。悪環境 (たばこの煙や粉塵の多い場所など) で使用している場合は早めに交換してください。 結露・水濡れ・粉塵・埃・腐食性ガス・有機溶剤のない環境 (高精度温湿度センサは殺虫剤を含む) で使用すること 温湿度センサには防水性能がありません。濡らさないように注意してください。濡れてしまった場合は本体からセンサを抜いて早めに水分を拭き、常温乾燥空气中で乾かしてください。
---	---

使用している表示と絵記号の意味


警告表示の意味


	警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。


絵記号の意味


		
---	---	---


警告 重大な事故を防ぐために


 本製品と付属品の分解や改造、修理などはご自分でしないでください。


 薬品や有機ガス等の影響を受ける環境では使用しないでください。本製品等が腐食する恐れがあります。また、有害な物質が本製品等に付着することにより人体に害をおよぼす恐れがあります。


 本製品は防水構造ではありません。ケース内部に液体が入ってしまった場合はすぐに電池を抜いて使用を中止してください。


 めれた手で電池・センサの抜き差しをしないでください。


 本製品は一般の民生・産業用として使用されることを前提に設計されています。人命や危害に直接的または間接的に関わるシステムや医療機器など、高い安全性が必要とされる用途には使用しないでください。


 本製品を USB ハブや USB 延長ケーブルでパソコンと接続した場合は動作の保障はできません。


 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。


 センサの加工、カットはしないでください。また、ねじる、引っ張る、振り回すなどの行為はしないでください。

 静電気による本製品の破損、データの損失を防ぐために、本製品を取り扱う前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシ等）に手を触れ、身体の静電気を取り除くようにしてください。

 本製品と付属品はお子様の手が届かない所に設置、保管してください。

 本製品の故障、誤作動、不具合などによりシステムに発生した付随的障害、及び本製品を用いたことによって生じた損害に対し、当社は一切責任を負いません。

 指定以外の電源・センサを使用しないでください。

 本製品が発熱している、煙が出ている、異臭がする、変な音がするなどの異常があるときは、すぐに電源を抜いて使用を中止してください。

注意 設置・保管に適さない場所

- 直射日光のあたる場所
- 火気の周辺または暖房器具の周辺など、熱気がかもり高温になりやすい場所
- 静電気が発生する場所
- 強い磁力が発生する場所
- 水濡れの危険がある場所
- 結露を起こしやすい多湿な場所
- 振動が発生する場所
- 煙・ちり・ほこりの多い場所

注意 そのほか ご注意いただきたいこと

- 本製品の動作環境を守ってください。本来の目的以外の用途に使用しないでください。
- 温度差の激しい環境を急に移動した場合、本製品のケース内で結露する恐れがあります。結露しないようにご注意ください。

- 風呂場など水濡れしやすい場所、湿気が多い場所では使用しないでください。
- 各接続ジャックに異物を入れないでください。
- 本製品が汚れた場合は乾いた清潔な布で拭いてください。
- 本書は別途必要な機器等の詳細につきましては、お客様にて確認済みであることを前提にしております。通信機器が利用（通信）できなかったことによる契約者、利用者及び第三者の被った損害については当社では責任を負いかねます。

注意 無線通信機器設置時の注意事項

無線通信エラーが起きないよう、無線通信機器の設置場所にご注意ください。また、環境変化によって設置時と条件が異なり、システム運用開始後に通信エラーが起きることがあります。

- 金属からできるだけ離し、見通しのよい高い位置に設置してください。
- 壁、床、階段、棚、机などは金属が含まれている場合が多いのでご注意ください。屋内外で通信する場合、電波が透過しやすい窓などに設置してください。
- 金属の壁、板等から 30cm 以上離して設置してください。
- 冷凍 / 冷蔵庫など、金属製のボックス内に設置する場合は通信距離が短くなります。電波はドア側から抜け出ることが多いので、設置する場合はドア側に設置してください。
- ノイズを発生しやすい物からできるだけ離してください。
- 産業機器、電子機器、蛍光灯などには、ノイズを発生するものがあります。このような機器からなるべく 1m 以上離して設置してください。
- パソコンなど強いノイズが発生する装置からは、1m 以上離して設置してください。
- 無線通信機器の近くに他の電線がないことを確認し設置してください。電源ケーブルや電話線、LAN ケーブルなどにご注意ください。
- 植物や土壌など水分の多い物質は電波を吸収します。なるべく無線通信が行われる機器間に入れない、または近くに置かないようご注意ください。
- 温室での温度測定において作物が生い茂ってきたとき、通信エラーが多くなった事例があります。
- 地面には直接置かないでください。
- 同一周波数の電波が多い場所には置かないでください。通信不良が起こりやすいだけでなく、電池寿命も短くなります。
- 同一周波数の機器が同時に無線通信する可能性がある場所で機器を使用する場合は、周波数チャンネルを変えてください。

電波法に関するご注意

- 本製品は、電波法に基づく特定小電力無線機器として、技術基準適合証明（利用に関してはお客様の免許申請等が不要）を受けています。必ず次の点を守ってお使いください。
- 分解・改造をしないでください。分解・改造は法律で禁止されています。
- 技術基準適合ラベルははがさないでください。ラベルのないもの使用は禁止されています。
- この製品は日本国外での電波法には準じておりません。日本国外では使用しないでください。

本製品使用に關しての注意事項

本製品を正しくお使いいただくために製品に添付された書類は必ずお読みください。パソコンの故障およびトラブルまたは取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障およびトラブルは、弊社の保証対象には含まれません。

- 添付書類の著作権は株式会社ティアンドデイに帰属します。添付書類の一部または全部を弊社に無断で転載・複製・改変などを行うことは禁じられています。

- Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標です。
- Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- 使用および表示されている商標、サービスマークおよびロゴマークは株式会社ティアンドデイおよびその他第三者の登録商標または商標です。「おんどとり」、[TANDD] のロゴはティアンドデイの登録商標です。
- 添付書類に記載された仕様・デザイン・その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

- 添付書類に記載した安全に関する指示事項には、必ず従ってください。本来の使用方法ならびに添付書類に規定した方法以外でお使いになった場合、安全性の保証はできません。
- 添付書類に記載した画面表示内容と、実際の画面表示が異なる場合があります。
- 添付書類の内容に関しては万全を期して作成しておりますが、万一落丁乱丁・ご不善な点や誤り・記載漏れなどがありましたらお問い合わせになった販売店または弊社までご連絡ください。また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記に関わらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 添付書類は再発行しませんので、大切に保管してください。
- 保証書・無料修理規定をよくお読みください。

ユーザー登録・製品の問い合わせ・修理依頼
<p>株式会社 ティアンドデイ</p> <p>〒390-0852 長野県松本市島立 817-1</p> <p>電話：0263-40-0131 / FAX：0263-40-3152</p> <p>月曜日から金曜日（祝日を除く） 9：00～12：00 / 13：00～17：00</p>
ユーザー登録・お問い合わせフォーム
<p>http://www.tandd.co.jp/support/</p> <p>ユーザー登録、お問い合わせフォームはこちらから、ユーザー登録して頂きますと製品別サポート情報をお届けいたします。最新のソフトウェア・取扱説明書のダウンロードもできます。</p>